

## 美濃屋流越冬管理の基本

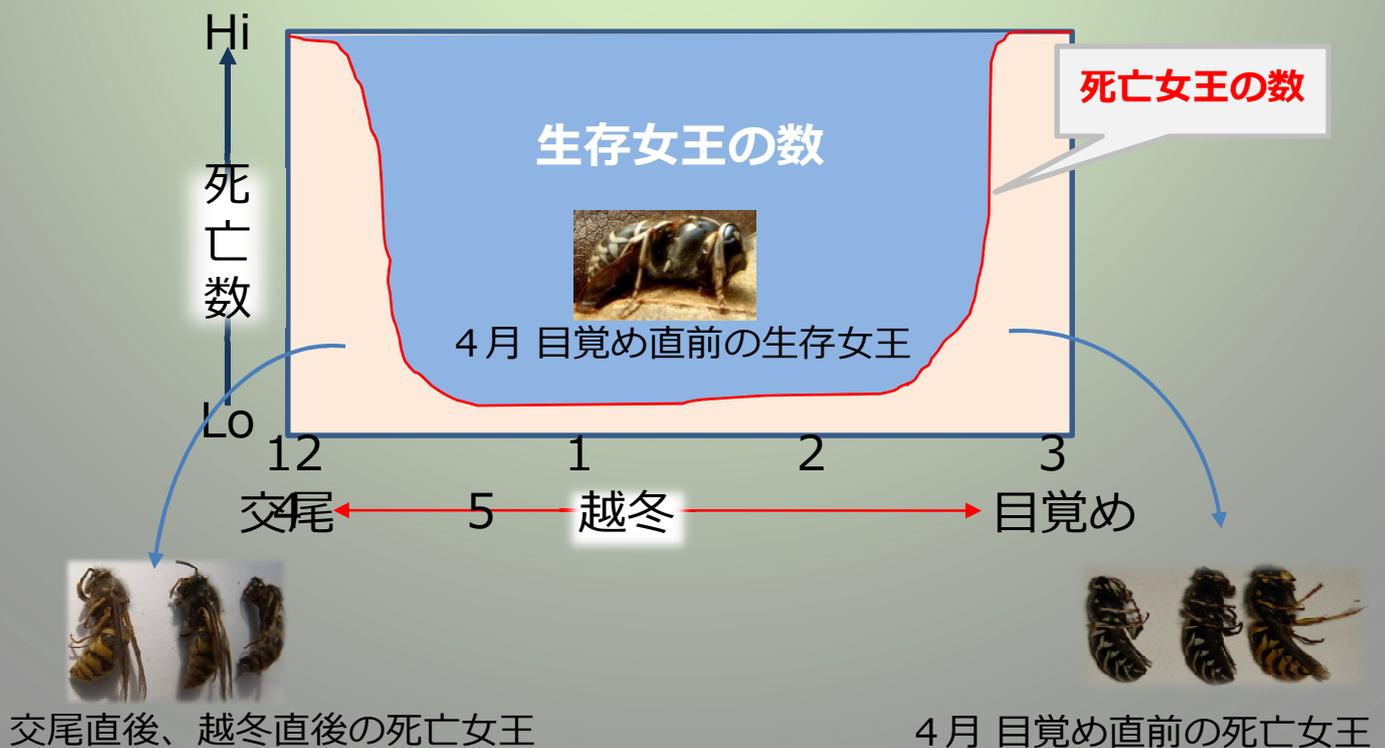
どのように越冬すべきか？、という回答が完全にできていないわけではない。

しかし、死亡が発生するメカニズムは『バスタブ曲線』に由来する！

というのが私の基本的な考え方だ。

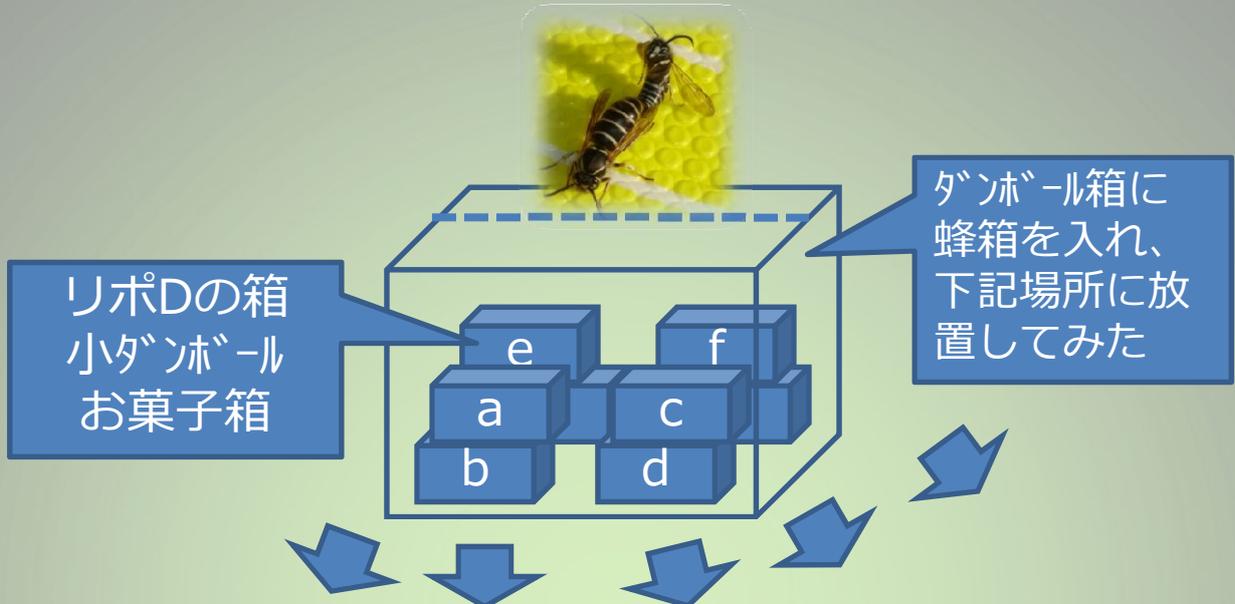
- ①新女王は交尾中および交尾直後に初期死亡状態が発生する。交尾前事故、交尾中事故、交尾後事故、が自然条件により発生する。
- ②越冬女王は箱・籠・自然状態の木、落ち葉などの間でジャストフィット条件以外は徐々に死んでいく宿命がある。
- ③しかし、一定のエネルギーを保管しているので、そのエネルギーの保管量（在庫）が切れる順に死んでいくように制御される。

以上のことから死亡する蜂の数を曲線で表せばそれこそが『バスタブ曲線』である。



# 88年年年年年年年年

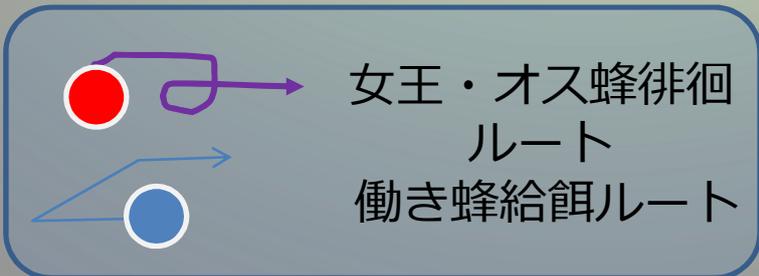
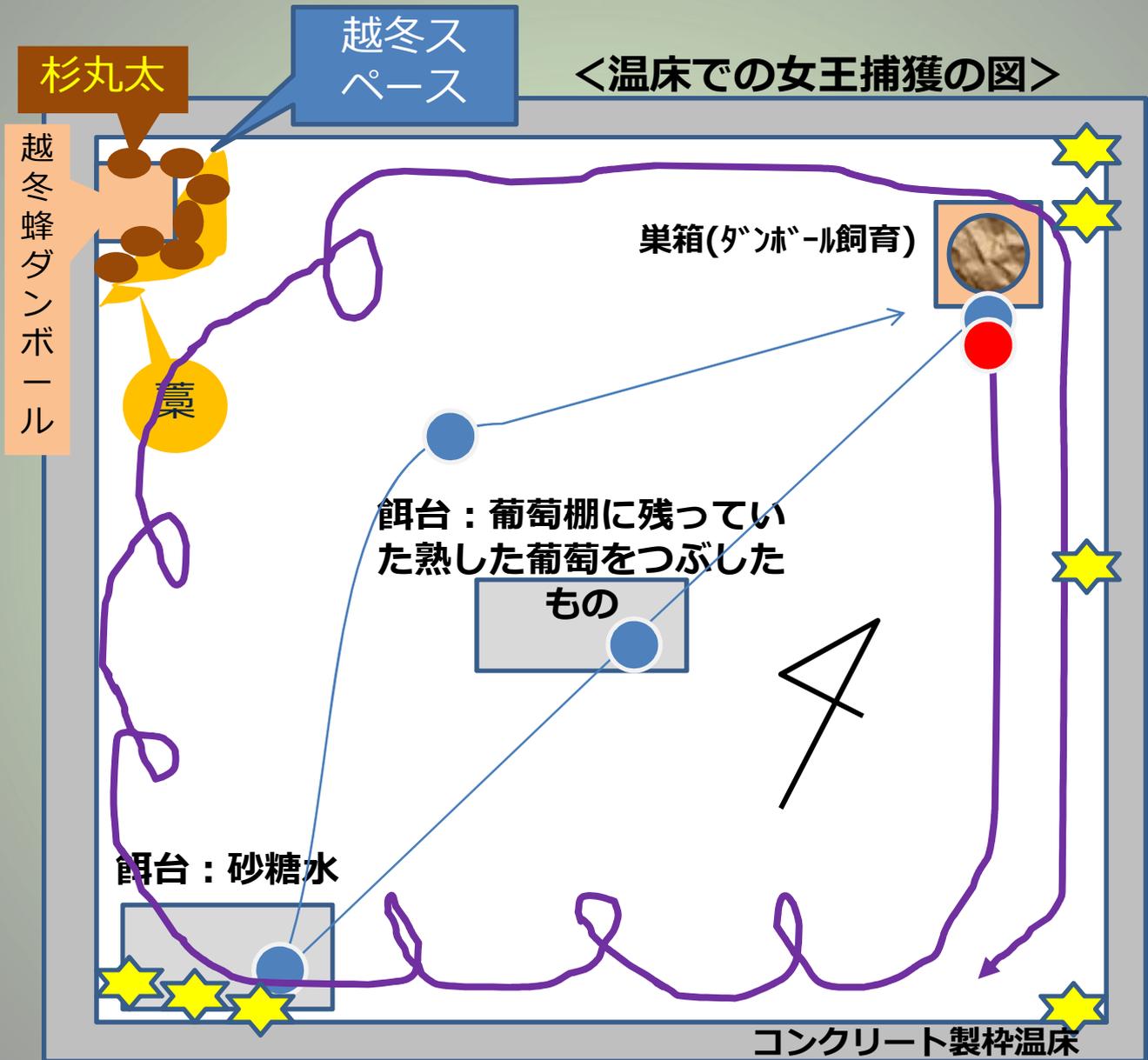
越冬期間：11/27～4/26



置いた場所	上座敷	土中 (温床の中)	土中 (ムロ)	落ち葉の中へ埋め	ボイラー室
観察状況	もぞもぞがりがり動く	蜂が良く飛んでいた	雪のため見ることはなかった	見ることはなかった	家の裏のため見れなかった
越冬結果	女王が半分以上死んだ	箱に蜂が入っていなかった	ほとんど死んでしまった	ねずみにほとんど食われた	わずかに生きていた女王
判定	×	×	×	△	△

# 温床交尾越冬試験

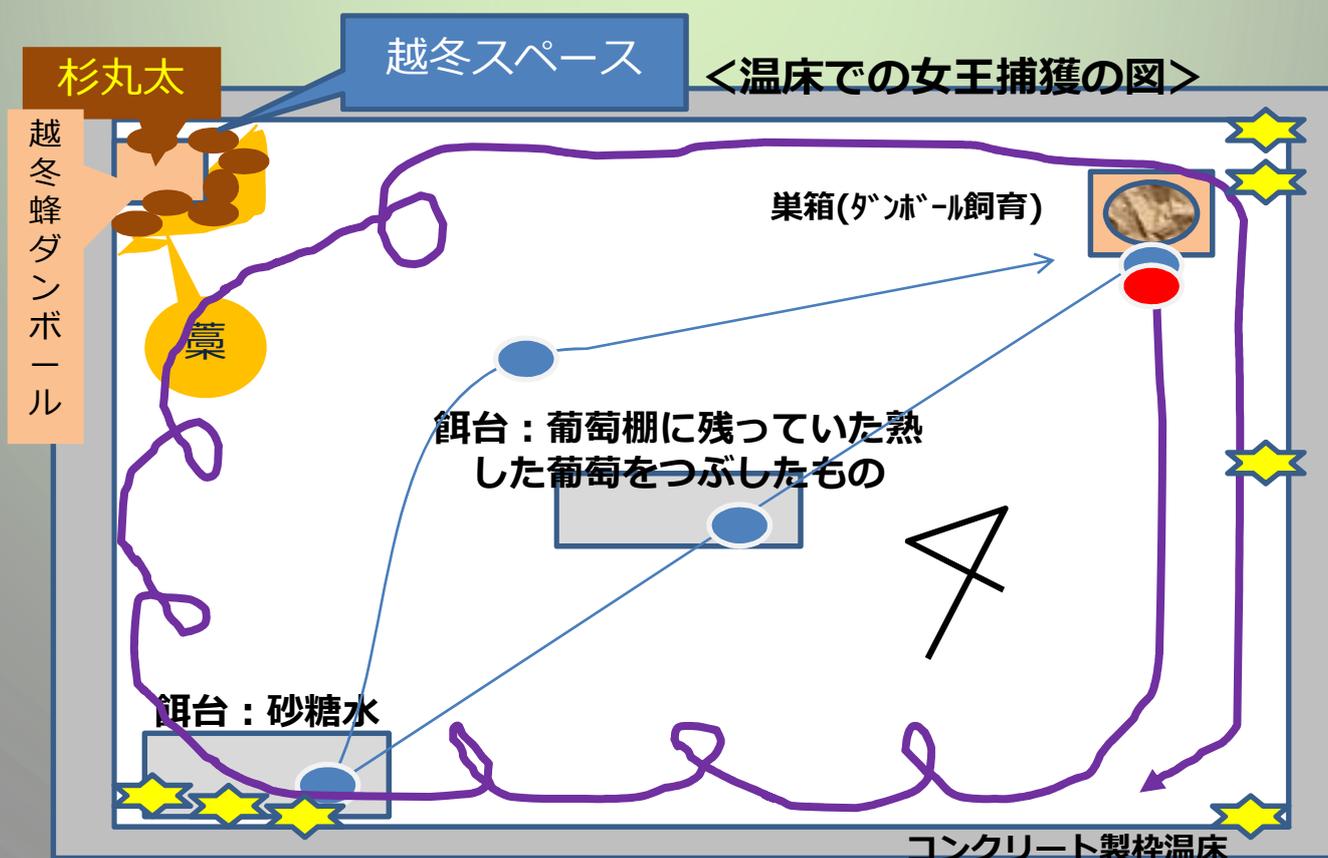
12/3~4/15



# 88.12.12

## 蜂を温床へ入れ解ったこと

- 1.蜂が口移しで女王に餌(葡萄液)を与えていた
- 2.温床の中で交尾が行われていた
- 3.日が経つにつれて働き蜂が死んでいく
- 4.女王も死ぬものがある
- 5.ガラス戸の右側(北側)に女王は集まる
- 6.巣箱と餌の間を通い、餌を運ぶ
- 7.藁の中は日陰の藁へもぐりこむ
- 8.布の中へももぐりこむ
- 9.女王が藁布へ食いつき、羽は下へ閉じたようになる
- 10.サッシの穴の越冬女王は死んでいた(2W位経つ)



# 交交交交交交交交 越冬場所

1. 枯葉



2. 塩ビパイプ(三宅式)



3. 藁 (美濃屋式)



4. 新聞紙 (極楽蜻蛉式)



5. 開放空間

